

# 自動運転実証実験を含む新たなモビリティサービス実証実験



春日井市、名古屋大学、厚生労働省東海北陸厚生局は、3者の連携により、高蔵寺ニュータウンにおける高齢者など交通弱者を主な対象者として、モビリティ（移動性）の向上を目指した新たなサービスの実証実験を展開し、ニュータウン型のMaaS（Mobility as a Service（移動のサービス））を構築し、先進技術による快適なまち「高蔵寺ニューモビリティタウン」を目指す。

## 実証実験概要

平成31年1月～2月の約2か月間、従来の路線バスやタクシーに加え、高蔵寺ニュータウンをフィールドとした相乗りタクシー、ポランティア輸送、自動運転等を活用したモビリティサービスの実証実験を実施する。実証期間中は、グループふじとう内に配車オペレーターを配置し、実験や乗車方法の問い合わせ等にも対応する。

### 相乗りタクシー実証実験

高蔵寺ニュータウン内を発着条件とし、相乗りタクシーの実証実験を実施する。名大が開発する予約アプリにより、最大2組のマッチングを行い、乗車距離に応じてデビット（事前にチャージ）により決済する。市内タクシー組合と連携し、10台/日程度、専用端末を搭載した車両を手配する予定。

### ポランティア輸送実証実験

ニュータウン内居住者の有志をポランティアドライバーとして募集し、利用者の自宅から1.2kmを上限に、住民共助の精神でガソリン代相当の実費にて輸送する。利用者どらいバターのマッチングは、相乗りタクシーと同一の予約アプリを使用し、距離に応じたデビットにより決済する。

### ラストマイル自動運転実証実験

実証実験期間の最終フェーズに、ポランティア輸送の代替をイメージした自動運転の実証実験を実施する。予約アプリによる自動運転車両の呼び出しなどを想定。

## モニター調査

ニュータウン内の居住者1000名程度を選出（うち200名は高齢者）し、相乗りタクシーやポランティア輸送のサービスを利用していただく。高齢者モニターには、実証の前後で調査することで外出頻度・健康状態・幸福度などの変化を把握する。

## 実証実験等スケジュール

	2018年度			2019年度		2020年度	
	10月	11月	12月	1月	3月	上半期	下半期
地域実装協議会 (先導的モビリティ検討会議)	★ 第1回 記者会見				★ 第2回	★ 第1回	★ 第2回
モビリティサービス実証実験等		高齢者モニター調査				事業ランニング検証	一部サービス実装





# 高蔵寺

# リ・ニュータウン通信



## センター地区を題材とした『まちづくり・都市デザイン競技』の記念シンポジウムを開催します！

昨年度の「まちづくり・都市デザイン競技」の実施地区である高蔵寺ニュータウンセンター地区を題材に、10～20年度の将来像を描いた計33点の作品中から、国土交通大臣賞始め春日井市長特別賞など、5つの賞の受賞者が選考されました。

このたび、本競技を記念した「春日井市長特別賞表彰式・記念シンポジウム」を開催します。神戸芸術工科大学 西村教授による基調講演や受賞者を交えたパネルディスカッションを行い、専門家と一緒にセンター地区のあり方を考えます。ぜひご参加ください！

まちづくり・都市デザイン競技とは、まちづくり月間全国的行事実行委員会、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンターが中心となり、地域の実情に応じた計画概念や施設デザインなど、様々なアイデアを全国から広く募集するものです。（国土交通省後援）



### ～市長特別賞記念シンポジウム～

- ◆日にち 令和元年 7月13日(土)
- ◆場所 東部市民センターホール
- ◆時間 午後1時30分～午後3時40分（午後1時受付開始）
- ◆プログラム
  - ・開会、挨拶
  - ・基調講演「都市デザインから考える高蔵寺ニュータウンのセンター地区の将来像」  
神戸芸術工科大学教授/まちづくり・都市デザイン競技審査委員長 西村幸夫氏
  - ・パネルディスカッション  
コーディネーター 神戸芸術工科大学 教授 西村幸夫氏  
パネリスト 各受賞者（株式会社地域計画建築研究所（アルパック）、滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科、大成建設株式会社、千葉大学大学院園芸学研究科、Lynx高蔵寺/山上建築設計）
- ◆参加方法 事前申し込み不要。当日、会場に直接お越しください（先着150名）。

### ～国土交通省スマートシティモデル事業～

## 高蔵寺ニュータウンが先行モデルプロジェクトに選定！

市と名古屋大学で連携する自動運転を含むモビリティサービスに関するプロジェクトが、国土交通省の「スマートシティモデル事業」に選定されました。

先行モデルプロジェクトとしての選定は、愛知県下で春日井のみ。今後は、実用化を目指した自動運転の実証実験などをさらに加速させ、国土交通省と連携しながら、全ての世代の居住者の外出頻度の向上や健康増進、QOL（「Quality of Life」：生活の質）向上を目指すための取組を推進します！



# ～2019年1月～2月に高蔵寺ニュータウン全域で実施～ 相乗りタクシー等実証実験の結果をお知らせします

2019年1月～2月の2か月間、市と名古屋大学で連携して、ニュータウン全域を舞台にした「相乗りタクシー」「ボランティア輸送」の実証実験を実施しました。

モニターやボランティアドライバーとしてご参加いただきました皆さま、実験にご協力くださいました市内タクシー組合5社の皆さまのおかげで、無事、実証実験を終えることができました。ありがとうございました。

昨年度の結果を踏まえ、近年中に新しいサービスを実現するべく、今年度も自動運転や相乗りタクシーの実証実験等を推進していきます！



## 参加者数

参加者(登録者) 196名  
ボランティアドライバー - 8名  
協力タクシー事業者 5社  
(計10台/日稼働)

## 利用者数

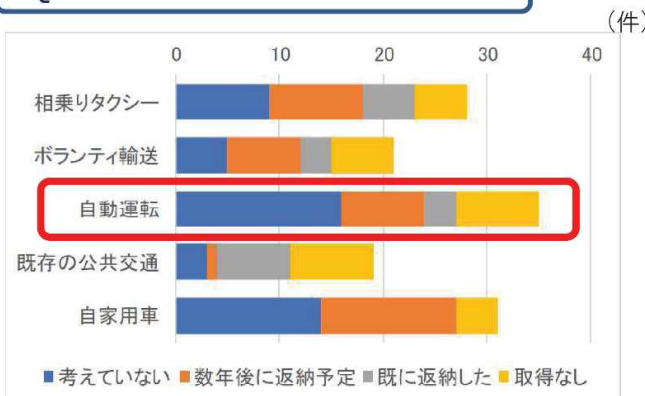
配車システム	配車リクエスト	配車マッチング
相乗りタクシー	67件	36件
単独タクシー	36件	39件
ボランティア輸送	8件	5件

※リクエストは複数選択可能のため、マッチング数との相違あり。

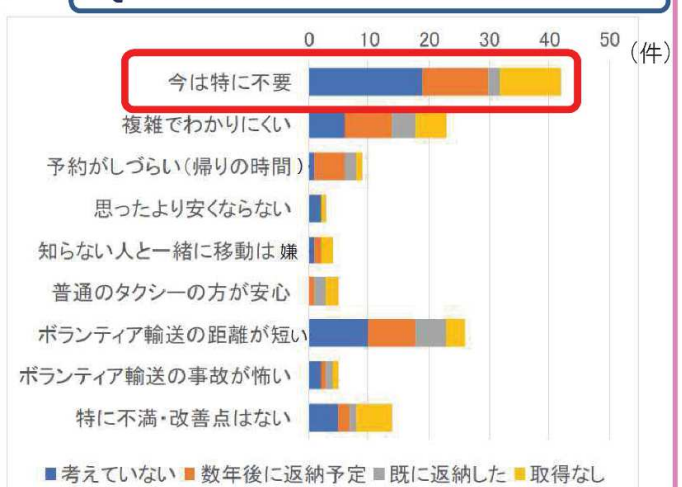
## 主なご意見

※免許返納意向別にグラフ化

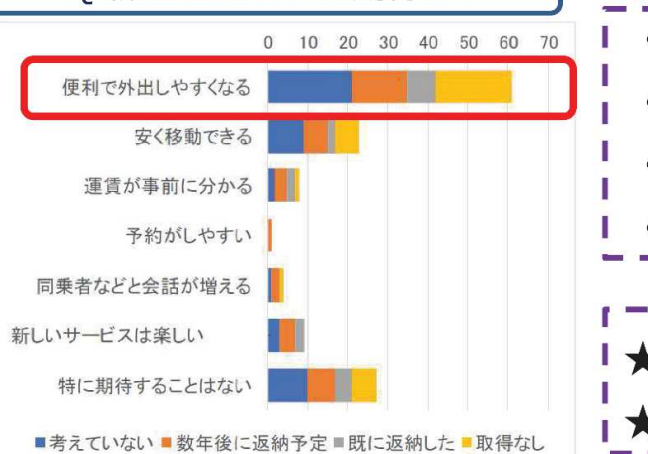
### Q 今後、最も期待するサービスは？



### Q 今回のシステムへの不満・改善点は？



### Q 新しいシステムへの期待は？



- ・自動運転などの実用化に期待
- ・新たなシステムで外出増が期待
- ・今はシステム不要（自家用車有り）
- ・ボランティア輸送は距離短く利用少

- ★将来を見越したシステムの導入必要
- ★自動運転、相乗りタクシー等推進

リ・ニュータウン通信に関する問い合わせ先

春日井市まちづくり推進部ニュータウン創生課  
TEL 0568-85-6048 E-mail nt-osei@city.kasugai.lg.jp

# 高蔵寺スマートシティ推進検討会

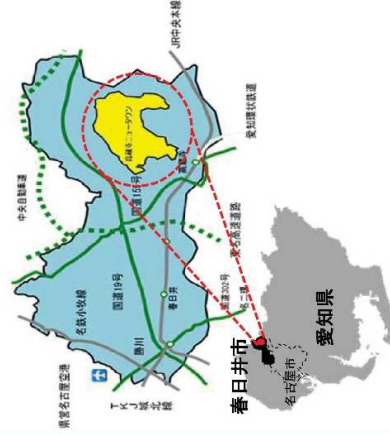
【地方公共団体：春日井市 民間事業者等代表：国立大学法人名古屋大学】※

※公営時点では仮称

- 昭和43年にまちびらきをした高蔵寺ニュータウンでは、初期の居住者が一斉に高齢期を迎えており、人口減少、高齢化率の上昇。地区内では、良好なインフラが整備されている一方、坂道やバス停までの距離の長さにより外出機会の減少や公共交通サービスの衰退が課題。
- 産学官連携による自動運転を含む新たなモビリティサービスの導入により快適な移動を実現し、高齢化社会における車以外の外出促進と運動機会やコミュニケーション機会の増加を図り、ニュータウンの魅力向上と持続可能なまちの実現を図る。

## ◆対象区域

### 高蔵寺ニュータウン地区



## ◆事業実施体制

### 高蔵寺スマートシティ推進検討会

推進主体	国立大学法人 名古屋大学
春日井市	国立大学法人 名古屋大学
推進パートナー	株式会社 KDDI総合研究所 独立行政法人 都市再生機構
名鉄バス株式会社	春日井タクシー組合
高蔵寺まちづくり株式会社	
連携パートナー	株式会社 日本総合研究所

## ◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

### 新たなモビリティサービスの導入による移動支援

- ・区域内の公共施設内に自動運転車両のモビリティベース（EV基地）を整備
- ・自宅からバス停や各種施設までを短距離移動する「ゆっくり自動運転」のサービスを展開
- ・配車予約システムには、ニュータウン版MaaSアプリを活用
- ・貨客混載による運営の効率化を図る



### 拠点からの各施設へのシームレスな移動

- ・商業施設等（モビリティスポット）に相乗りタクシー乗り場を設置し、自動運転サービスからのシームレスな移動を提供
- ・ニュータウン版MaaSアプリでオンデマンド対応を図り、配車オペレーションや需要予測にダイナミックマップを活用

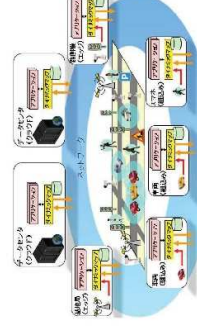


### 交通社会ダイナミックマップの活用

- ・クラウド、エッジ、組込みを有機的に連携した共通プラットフォーム
- ・車両位置情報を共有化し、タクシー配車の効率化や自動運転車両の後継り機能などに活用

### バス専用レーンの整備

- ・センター地区と高蔵寺駅を結ぶ路線バスは、高蔵寺ニュータウンの基幹交通となっており、自動運転バスにより、運転手不足を解消し、専用レーンによって、高頻度、低遅延のバスによるモビリティサービスを展開



## ◆2019年度の主な取組

- ・ラストワンマイル自動運転実証実験を2019年度は約1ヶ月間の長期にわたり展開
- ・相乗りタクシーのMaaSアプリによるオンデマンド対応などユニバーサルタクシーとしてのサービス高度化